

定住自立圏構想推進セミナーin富山

岐阜県美濃加茂市の取組み事例報告

みのかも定住自立圏の取組について

ここに住むしあわせ。H T エリアみのかも。



美濃加茂市 経営企画部 行政経営課
定住自立圏推進室長 小田島史佳

事例報告の構成

1. 美濃加茂市の概要① 位置・人口
② 住みよさランキング
③ 第5次総合計画

2. 定住自立圏構想策定の背景① 合併協議破綻
② 従来型の限界

3. 策定経過

4. 共生ビジョン策定体制の特徴

5. 取組み事例 ① 安心・安全向上
② 食文化・産業振興
③ 共生・交流推進
④ その他の事例

6. 構想推進に向けて「エンジン運営事業」

1. 美濃加茂市の概要①



堂上蜂屋柿



総人口(平成22年4月1日現在)
55,219人(男 27,340人 女 27,879人)

高齢化率 18.72%
地区別高齢化率(15.3~30.6%)



おん祭MINOKAMO

総合7位

1.美濃加茂市の概要②

全国「住みよさ」ランキング（東洋経済新報社【全国109市区】）

※ 都市データパック 2010版より

①安心度

②利便度

③快適度

④富裕度

⑤住居水準充実度



中部台住宅団地

1.美濃加茂市の概要③

美濃加茂市第5次総合計画
2010年～2019年

将来像：まあるいまち みのかも

みんなが輪になること
みんなが安心して笑顔でいられること
地球全体が暮らしやすくなること

総合計画の中で、周辺市町村との連携による
都市経営の方向性について規定

2. 定住自立圏構想策定の背景①合併協議破綻

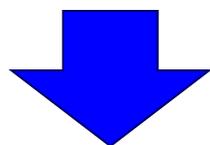
加茂郡7町村



2.定住自立圏構想策定の背景②従来型の限界

これまでの広域圏の取組み

- 行政主体・総花的・網羅的
- 右肩上がりの成長時代には有効な制度であった



- 全国的に少子高齢化が急速に進み、公共投資余力の低下が顕在化

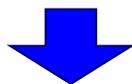
従来型の広域圏の取組みでは十分な成果が期待できない状況にある





そこで

定住自立圏構想を“絵に描いた餅”ではなく、
確実に成果を上げる取組みとするためには



地域の産業経済活動・住民生活に必要なサービス
提供の担い手である 民間事業者・各種団体等と
一丸となった活動 が必要

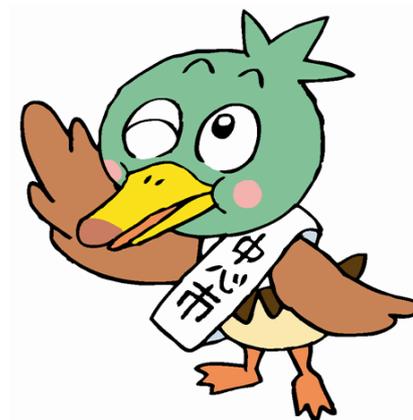
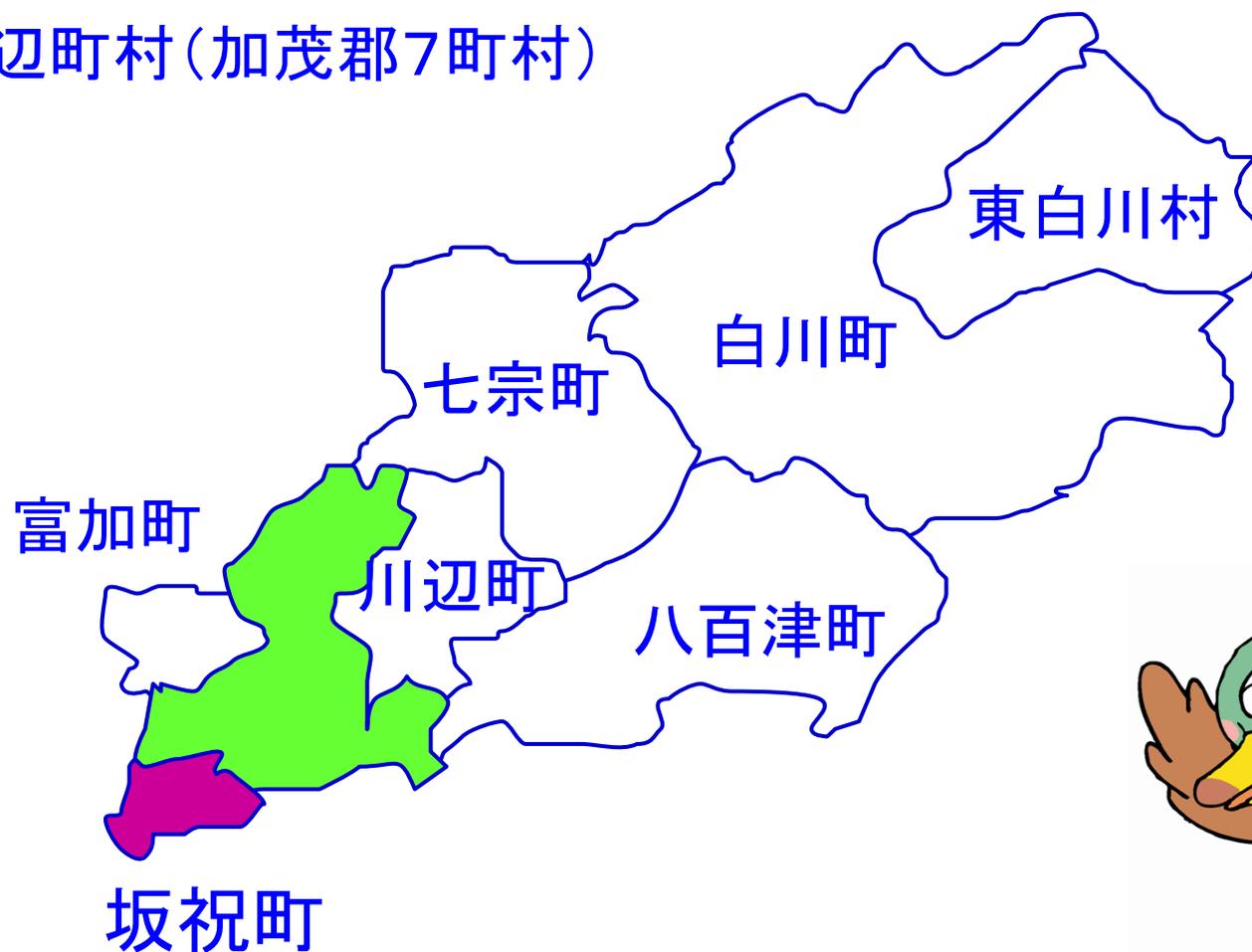
民間主体による
「新しい公共サービス」を
周辺町村との連携により実現



3. 策定経過

2009. 3. 24 中心市宣言

周辺町村(加茂郡7町村)

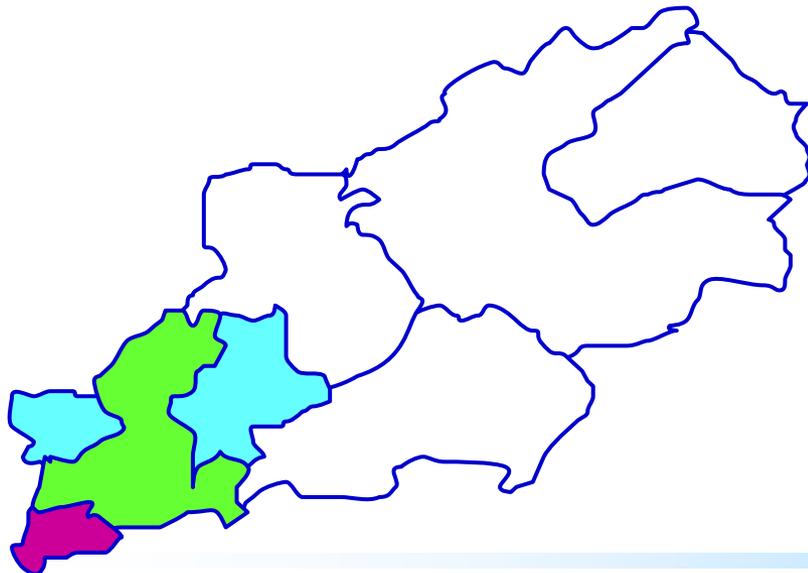


2009.10.26 坂祝町との協定締結

医療・教育・産業振興・地域交通・多文化共生等
3政策分野 9連携分野 17項目の取組

2010. 3.24 坂祝町との変更協定締結

福祉・環境の政策分野を追加
3政策分野 11連携分野 20項目の取組



他の周辺町村との協定も
順次拡大

2010. 5. 10 坂祝町との共生ビジョン策定

実現に向けた具体的取組

- ①安心・安全向上分野(2分野 8事業)
- ②産業振興分野(1分野 8事業)
- ③交流・共生分野(5分野 10事業)
- ④圏域マネジメント強化分野(3分野 6事業)
- ⑤定住自立圏構想の推進に向けて(1分野 1事業)



4. 共生ビジョン策定体制の特徴【平成21年度】

民間主体の事業提案

定住自立圏構想アクションプランWG会議

- 民間事業者や地域関係者の意見を幅広く反映
- 人的ネットワーク構築
- 民間主体の新しい公共サービス実現

①安心・安全向上WG 8名(6回開催)

医療・救急・社会福祉関係者等

②食文化・産業振興WG 8名(7回開催)

農業・食品加工・菓子製造・観光施設関係者等

③人口・交流拡大WG 8名(8回開催)

デジタル家電・自動車製造・教育関係者等

岐阜放送

フォーカス GIFU

定住自立圏構想

取材：22年5月18日（火）

『みのかも定住自立圏職員合同研修』

5. 取組み事例 ①

安心・安全向上

救急情報共有連携システム事業

カード内のデータ

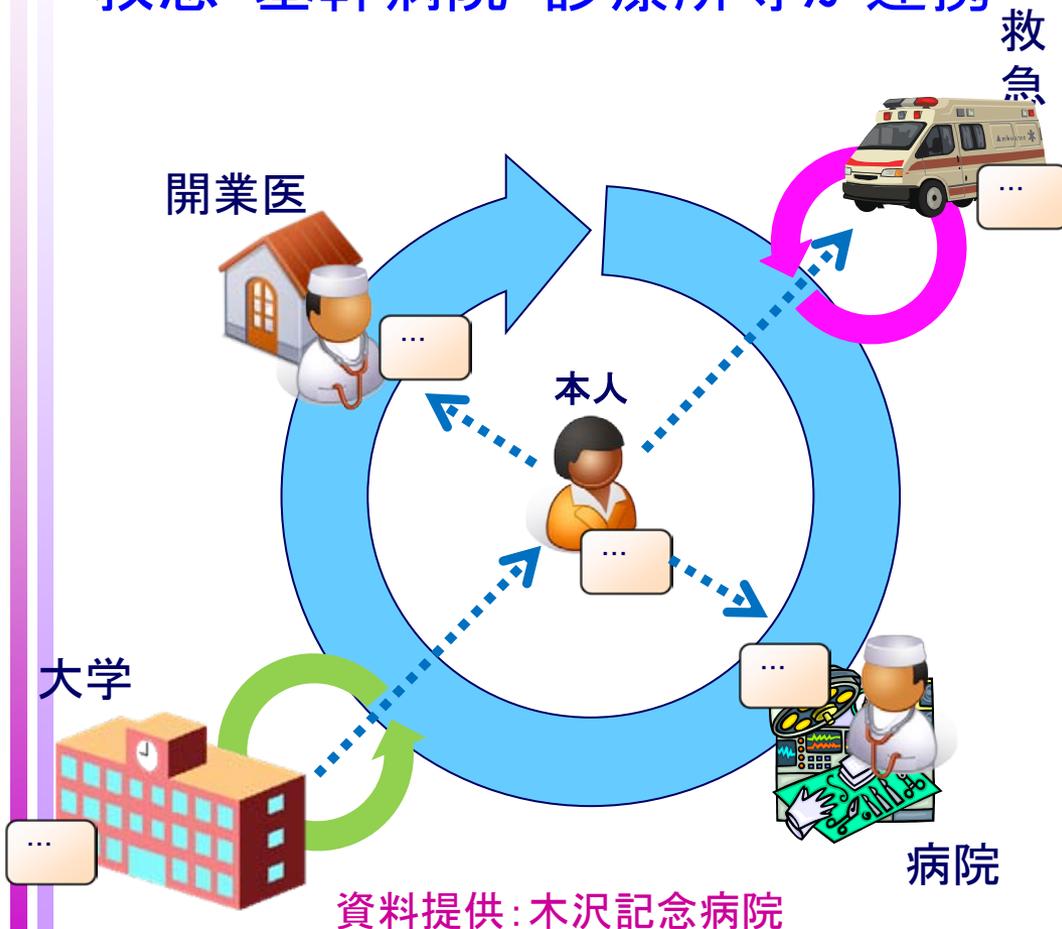
- MEDICA ID
- 病院名
- 更新日
- 氏名／カナ
- 生年月日
- 血液型
- 郵便番号／住所／建物
- 電話番号
- 既往歴
- 投薬
- 感染症
- 特記事項

「MEDICA」カード



救急情報共有連携システム事業

MEDICAカードを活用し、
救急・基幹病院・診療所等が連携



資料提供: 木沢記念病院

- 救急車と医療チームでの情報共有
- 病診連携・病院同士の連携・医師同士の連携の強化
- 地域における救急対応能力の向上
- 地域の医療資源の有効活用

救急情報共有連携システム事業



○患者搬送時間の有効活用
(救急隊員からの連絡を受けての準備)

○当院以外へ搬送された場合の情報提供(豊富な情報量)

○定期的に入院治療が必要な患者の追跡が可能(データの更新がない場合は本人に通知)

○地域医療・病診連携への貢献(効果的に活用された場合の社会的反響)

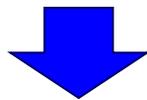
5. 取組み事例 ②

食文化・産業振興

地元産農産物の乾燥・冷凍加工食品製造事業
耕作放棄地共同再生事業

圏域における農業の課題

- ①耕作放棄地の増加
- ②農業の担い手不足



特産物の活用により解消
地域ブランドの開発



地元産農産物の乾燥・冷凍加工食品製造事業

国内の農産物市場

食料自給率が40%を割る中、輸入食品が増加傾向
一方、食品の安全性が大きな社会問題



国産食料品へのニーズの高まり



しかし、生産量の約40%が規格外として廃棄

規格外農産物の有効活用による、

- ①地域農業の活性化
- ②地域ブランドの開発

〔八尋産業(株)の取組み〕 この取組みの資料提供:八尋産業(株)

地元産農産物の乾燥・冷凍加工食品製造事業



「乾燥モロヘイヤ」を生産し、学校給食向けに販売。「モロヘイヤ」の葉先から約20cmを冷凍食品として提供。「モロヘイヤ」の需要量が増え、農業者からの買取り量も増やすことができる。



健康ブームの高まりから「青汁」の原料となる大麦若菜の乾燥商品に対する需要が増加。大麦若菜の栄養価を損なわず、緑色を保持した乾燥技術。



国産の安心安全な野菜の積極的な使用要望が高まっている。一般的に商品化されにくい親芋と、子芋や孫芋のうち小サイズを活用し乾燥粉末や冷凍加工する。

地元産農産物の乾燥・冷凍加工食品製造事業

モロヘイヤ

大麦若菜

里芋

規格外農産物

乾燥・冷凍加工食品製造工場



①生産者

- 農業所得向上
- 耕作放棄地解消

②消費者

安心・安全な食料品の購入

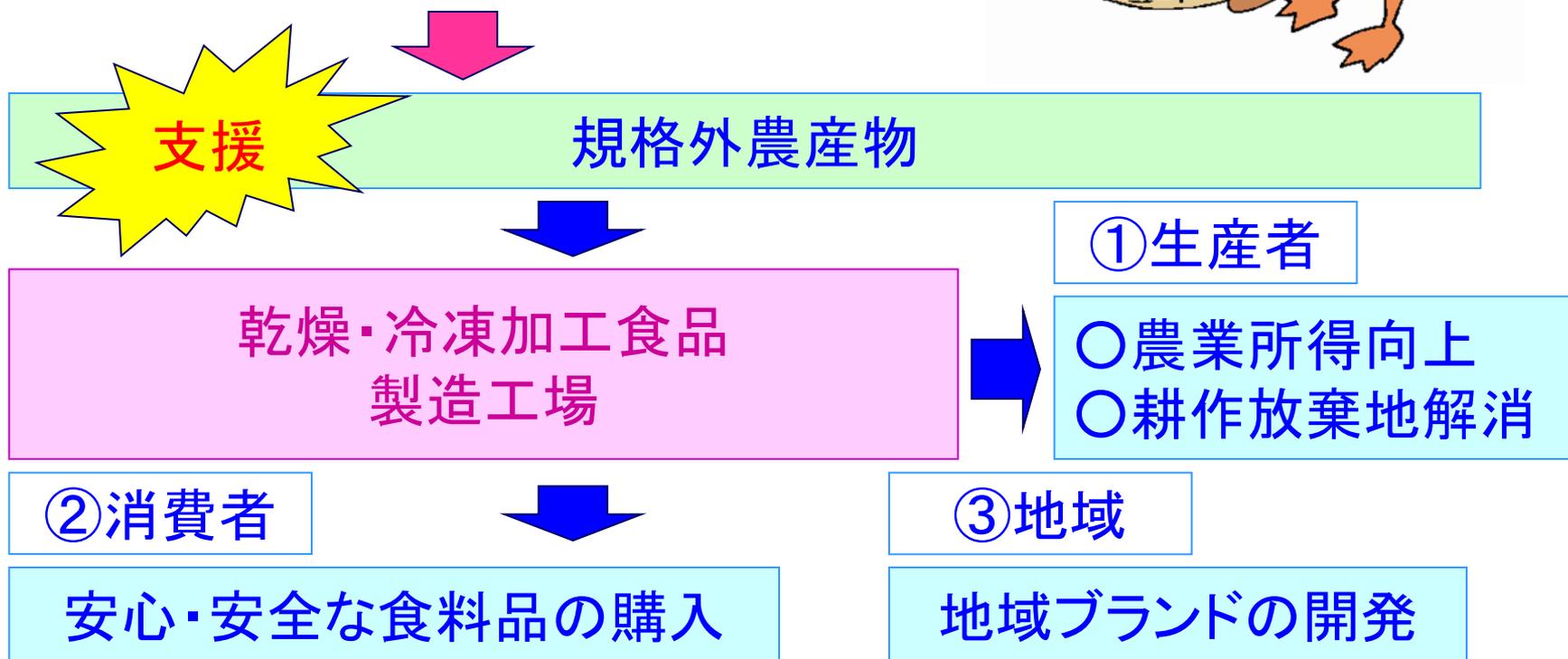
③地域

地域ブランドの開発

耕作放棄地共同再生事業

(有)アグリアシストみのかも

- ①草刈機・運搬車の購入
- ②耕作放棄地の草刈・耕起・作付
- ③農作物収穫 ④農作物販売



5. 取組み事例 ③

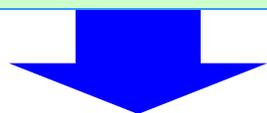
共生・交流推進

圏域内外国人住民とその家族への支援

総人口 2010年4月1日現在
55,219人(男 27,340人 女 27,879人)

外国人登録者数
5,193人(男 2,506人 女 2,687人)

人口構成



**総人口の
9.59%**

内訳(上位6カ国のみ)

ブラジル籍	2,790人
フィリピン籍	1,451人
中国籍	443人
ペルー籍	112人
韓国・朝鮮籍	102人

外国人登録者の
57.2%



圏域内外国人住民とその家族への支援

まちの様子



ブラジルの店



ポルトガル語が
目立つまちへ



ブラジル銀行

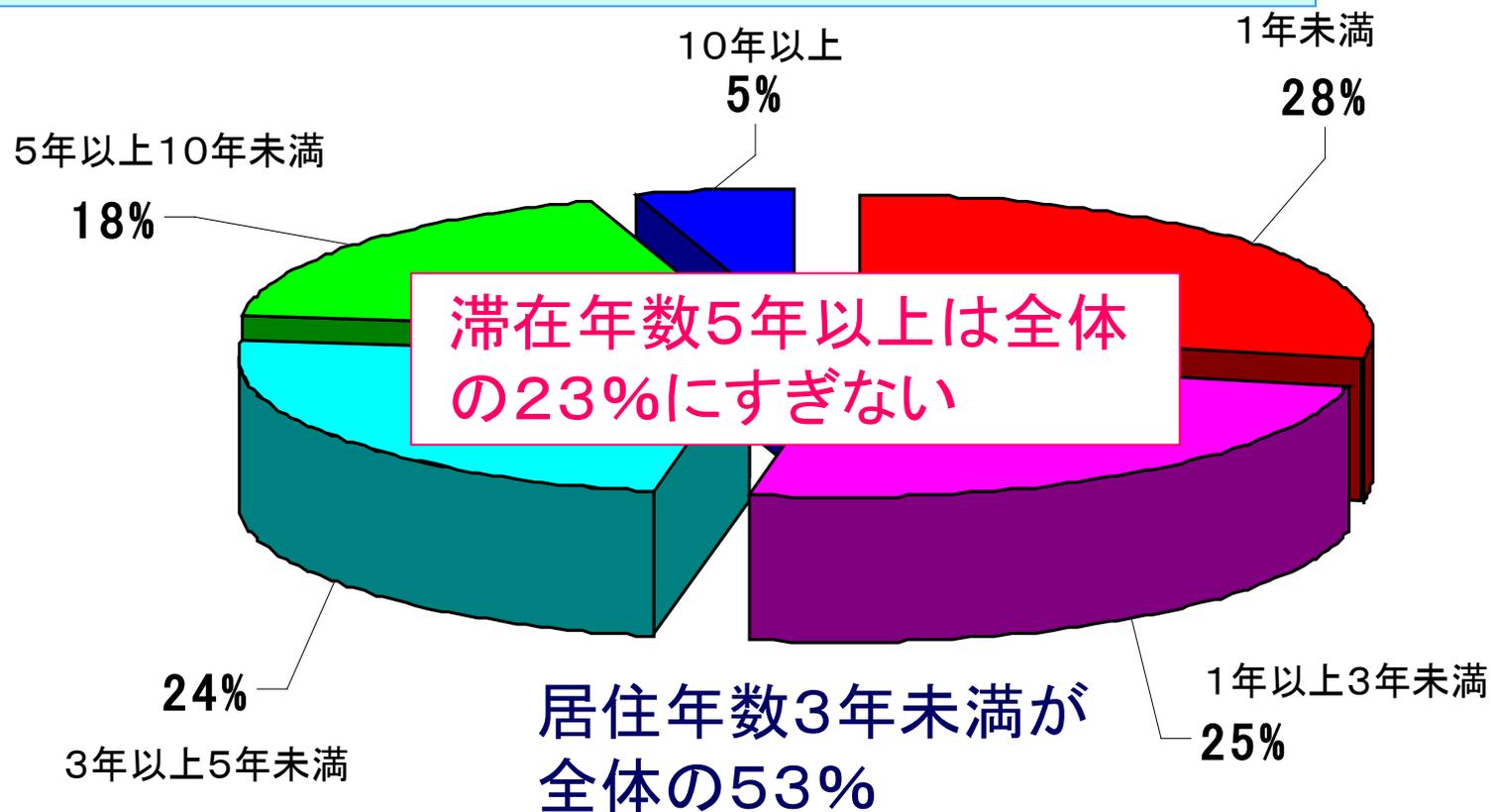


ブラジルの店



ブラジル人学校

圏域内外国人住民とその家族への支援



* 緊急外国人実態調査(2009.3.7~17)結果

定住促進の大きな要素⇒日本語習得

圏域内外国人住民とその家族への支援

外国人集住都市会議 みのかも2007 H19年11月28日

1. 外国人を生活者として受入れ、地域社会が一体となった取り組みを進める
2. 全国共通の外国人住民基本台帳の創設



外国人集住都市会議 東京 2008

H20年10月15日

1. 外国人政策を所管する政府組織の設置
2. 日本語教育の推進体制の整備

圏域内外国人住民とその家族への支援

定住促進の大きな要素のひとつ⇒日本語習得



民間と連携した日本語学習環境整備事業

なかにほん・にほんご・あかでみい

中日本自動車短期大学
＋美濃加茂市＋坂祝町

日本語を習得する留学生と一緒に受講。
ただし、正規の学生ではないため、学歴や単位の認定はない。

外国人住民の定住促進

＋

地域コミュニティへの参加

5. その他の事例

安心・安全向上（その他民間WGからの提案例）

○休日急患診療充実事業

○福祉サービス従事者スキルアップ支援事業

民間企業・福祉事業者からの寄付等により、福祉サービス従事者のスキル向上の支援等を目的とした基金を創設。



食文化・産業振興(その他民間WGからの提案例)

○産業観光推進事業



工業や食品関連等の製造に関する展示や工場見学を観光客にアピールし、域外からの集客を図る。

○特産品販路拡大事業

地元の農産物及び特産品等を販売できる「(仮)とれったひろば美濃加茂店」を設置、ネット等での販売を行う。



共生・交流推進(その他民間WGからの提案例)

○スポーツを核とした 地域活性化事業

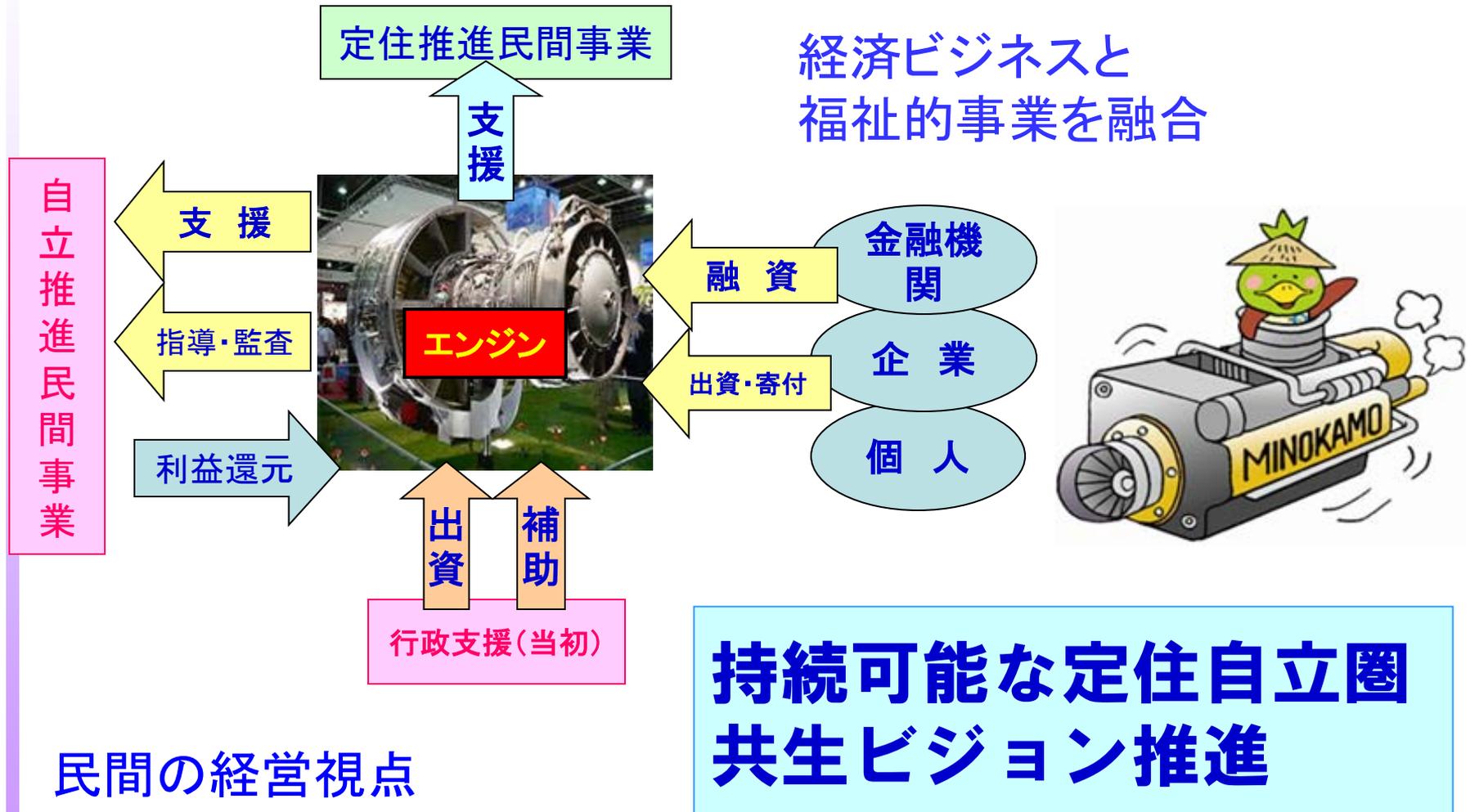


○エコを活用した地域循環型 ビジネス推進事業

- ・クリーンエネルギー普及
- ・リサイクル
- ・インターネットデータセンター

定住自立圏構想の推進に向けて

(ニックネーム)エンジン運営事業



美濃加茂市を中心市とする「定住自立圏」

地域の産業経済活動・住民生活に必要なサービス提供の担い手である**民間事業者・各種団体等が主体**となること



民間主体による「新しい公共サービス」
周辺町村との連携により実現

<将来像のキャッチフレーズ>

ここに住むしあわせ。H T エリアみのかも。



経済やまちづくりが活発で、
「熱く輝く」地域であり、
安心安全な「ほっと」できるまちを
めざします。

